

日本共産党

つばた恵子の市議会報告

NO 2

2011年8月10日

発行

日本共産党岩国市委員会

岩国市山手町4-3-5

市議員 つかた 恵子

岩国市由宇港1-6-12

電話：63-6550

岩国事務所：麻里布町

1-8-27 電話：29-5334

わすかですが

国保料が下がりました

均等割り1440円・平等割り1440円 計2880円

共産党が昨年の市議選で公約

国民健康保険料が高いという市民の声が多くあります。

高すぎて「払いたくても払えない」「滞納して保険証がもらえない」実情の中で

日本共産党は、昨年の市議選の一つの政策として、6億円の一般会計からの繰り入れて国保料金を一

万円引き下げるという政策を打ち出し署名運動も展開しながら選挙戦を闘いました。

一人平均

約2900円

引き下げが実現

今年度、所得割率は変化ありませんが均等割り1440円

円、平等割が1440円合計一人当たり約2900円の引き下げが実現しましたことは一定の成果です。



昨年度引き上げた

一万四千元に

ほど遠い

日本共産党は大西明子市議団長が代表質問でさらなる引き下げを求めて質問しました。

岩国市当局は「本年度も引き続き保険料抑制対策として、一般会計から1億円を繰り入れ繰越金も考慮し、保険料抑制

さらなる引く下げをめざして

岩国市当局は「来年度以降も経済動向を見ながら実情に即した保険料を設定し、健全化に努める」と答弁しました。

引き続き市民の大きな世論を高め国保料の引き下げをめざして参ります。

お知らせ
木造住宅の耐震診断・耐震改修制度
詳しくは党議員が最寄りの党員へお尋ねください。

上関原発中止へ

講演会

講師：笠井亮衆院議員

笠井議員は九電やらせメールを国会で追及し一躍全国に名前が知れ渡りました。

また党中央委員会の原発・エネルギー問題対策委員会の責任者でもあります。

「原発から速やかな撤退、自然エネルギーの本格的導入を」という演題で、日本共産党の提言をお話いたします。

岩国から遠いですがご連絡いただければ車を手配いたします。

とき 8月28日(日)

午後 2時

ところ 光市民ホール(光市)

主催：山口民報・日本共産党山口県委員会



市議会議員
つかた 恵子



原発講演会会場略図

上関原発計画凍結意見書可決

日本共産党市議団は①今の原発技術は本質的に未完成で危険なものである。

②地震・津波国である日本で大増設することは危険。

③どんな技術にも「絶対安全」は存在しないのに「安全神話」にどっぷりと



歴代政府、電力会社の責任は重大だと厳しく指摘し、上関には活断層が何本も

つかって対策を立ててこなかった。

走っており危険である。

貴重な生物の生息地で自然豊かな上関に原発建設はすべきではないと「中止」の意見書を会派代表者会議に提出しました。

しかし「凍結」意見が多く、全会一致という協議を尊重し、意見書に賛成しました。

総合庁舎跡地5873m²を

7億2千万円で売却

6月議会では総合庁舎跡地を医療法人「新生会」、社会福祉法人「錦福社会」、西京銀行に7億2千万円で売却する議案が可決されました。

「新生会」は鉄筋コンクリート5階建ての施設「デイサービス」「クリニック」「グループホーム」「高齢者専用住宅53戸」

「錦福社会」は鉄筋コンクリート6階建てで「デイサービス」

岩国市市場と総合庁舎跡地とを1m当たり53万4千円、約31億円で山口県と等価交換していたものです。



完成イメージ図

つばた恵子議員の

一般質問から

上関原発計画の計画中止を求めて！

上関原発は

環境破壊

日本共産党は上関原発建設には反対し建設中止を求めてきた。

30年余祝島の人口の9割の皆さんが、体を張って「原発はいらない」と闘ってきたことに胸が熱くなる。

上関周辺には活断層がいくつも走り、

また昔ながらの

自然海岸が広がり、世界的にも貴重な生物の生息地であり、原発が

建設されれば環境破壊はもとより、大量の温排水や取水するための塩素等で貴重な生物は姿を消すことになる。



人間の手で制御できない放射能

福島第一原発の事故後、原発から半径30km以内は強制退去や屋内避難といった措置が取られたが上関原発が建設されたら、由宇町の神東区、由西地区、周東町の一部がその範囲となる。放射性物質が外に放出されると抑える手段が存在しない原発。また運転停止後も廃炉まで20年程度もかかるというわけである。世界有数の地震国で、津波国である日本に54基も原発が作られていること自体大きな間違いである。

アメリカでさえ

活断層付近は禁止

あのアメリカでさえ活断層の近くには原発は作ってはなら

岩国市の答弁

原子力発電は国の電力の30%を担う電源であり化石燃料に代わる有効な基幹電源であるもののメリット、デメリットについて改めて議論する時期であり国の

方針に異論はない。上関原発の建設計画についてはエネルギー基本計画が見直され、結果が出るまで次に進むことはできない。まずは白紙にして議論すべきと考えている

福田市長は中止の声を上げて

NHKの世論調査で半数以上が原発中止を求めている。市長は白紙でなく、市民の現状を考え中止という声をぜひあげていただきたい。

東北大震災支援募金 ボランティア募集

日本共産党は全国で6億7千万円の募金を預かり現地へ届けました。引き続き取り組みます。

連絡先：党東部地区委員会 22-2245

愛宕山開発跡地は無償で岩国市に提供求めよ

日本共産党は米軍岩国基地の拡大強化を認めない平和行政を求めている。

基地の沖合移設事業に「協力」した愛宕山開発用地は岩国市に無償で提供すること。



愛宕山の

米軍住宅化反対

愛宕山への米軍住宅建設や米軍関連施設にしないことを求

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月 3400円
日曜版●月 800円



観客席8千人の根拠は

岩国市は愛宕山へスポーツ施設建設を求めているが、8千人規模の観客席を持つ野球場の建設を求める根拠はなにか、県内にそのような施設がどのくらいあるか。

駐車場は？

道路渋滞を

起こさないか

駐車場はどうなっているのか、8千人規模の集客が見込まれる大会やイベントで

岩国市の答弁

は、南岩国付近の国道や幹線道路の渋滞および愛宕山の医療センターへの救急患者搬送車両の通行に不便などないか尋ねる。

県内で観客収容数が8千人以上の競技場は12か所ある。防府スポーツセンター野球場が1万1千人で駐車場は1千台など。

野球場の規模等は高校野球の公式協議が行える球場として整備する。

ピジコム柳井スタジアムの収容人数が

小・中学校への空調設備の設置を求める

滑走路沖合移設から丸一年が経過。市内全域がうるささ指数が少なくなっているというが、騒音測定だけに頼り住民の声や実際の騒音を調べず、そのようなことを言われるのは問題。現に平成22年度の苦情件数は2198件と過去最高と答弁されている。住宅防音工事の拡大は



変わらぬ住民の要望。基準75W値を70Wにすることなど住民の声を聴き、国、米軍に積極的に要望すべき問題。

由宇小学校は、住宅防音区域に入っているが普通教室にクーラーがない。学校の上を飛ぶこともある米軍機。危険と

うるささと両方にかかわっている由宇小。公平な教育のために調査を行い。順にクーラーの設置を求める。

岩国市の答弁

滑走路の移設に伴いW値は減少したものの、苦情件数は平成22年度が過去最高となった。

W値が減少しているとの一面的な見方ではなく、体感に基づく声も含め飛行



経路および市街地上空時の高度を遵守するとともに、パイロットの教育の徹底を図り支障が生じないよう機会あることに米軍に要請する。また、小・中学校のクーラー設置については、まず由宇小上空を飛ばないことを申し入れる。そのうえで騒音測定データをもとに防衛相と交渉し、財源獲得等協議していく。